

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

7

July, 2015

vol. 397

Contents

就任挨拶…01

総会報告…02

建築探訪…03

支部だより…05

旅行記…07

会員仕事紹介…09

編集者のつぶやき…10



会長就任挨拶

二期目の会長を再任されました。小林です。

一期目の二年間はあっという間に過ぎてしまったというのがいつわざる思いではありますが、何とか目標に掲げたオール神事協体制の強化、財政の健全化については一定の成果を得ることが出来ました。このことは神事協会員、役員の御協力また所管行政庁の神奈川県始め横浜市、県下関係行政庁の皆様の御指導、御鞭撻に他ありません。ここで改めまして深く御礼申し上げる次第です。

しかしながら会員増強に関しては成果を上げるに至りませんでした。

そこで今年度は会員増強を最重要施策と掲げ様々な施策を実行していく所存ですので皆様の更なる御協力を御願ひする次第です。

もとよりオール神事協体制の強化、財務体質の強化もさらに進めて行かなくてはなりません。この目標を達成されることにより会員サービスの充実、法定団体、非営利型一般社団法人として県民、市民に対する貢献が充実されます。

今年度はより一層の組織の強化を図るため委員会組織を一部改組し、会員サービスに努めてまいります。中でも業務支援委員会は省エネルギー対策、兼業工務店の会員

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 会長 小林 忠志

にも参加頂けるように改革いたしました。その他の常設委員会、専門委員会も委員長のもと充実した活動を行って行きますので会員の皆様には神事協事業に積極的に参加頂き、会員でよかったと実感して下さい。

又、今年度から改正建築士法が施行され、我々建築士事務所の社会的地位が向上されることが期待されますが、その為には会員が率先して法を遵守することが第一です。法の実効性を確かなものにするためには行政、各種団体、消費者にも啓発することが大切ですので会員各位に於いても機会をとらえてのPRをお願い致します。

また、当協会の発展のためには関係団体との協力が欠かせません。特に団体の立場は違いますが、神奈川県建築士会様とは神奈川建築会議をとおして会員増強等を含め、より一層協力関係を築いて行きたいと考えております。

今年の10月17・18の両日、神奈川・横浜すまいみらい展が開催され神事協も実行委員会の一員になっておりますので多くの会員の皆様にご来場をお願い致します。

最後に未来につながる神事協になる為、粉骨砕身してゆく思いを表明して再任の挨拶とします。

副会長就任挨拶

棕 茂廣

副会長拝命され3期目となりました。今期は、会長のオール神事協体制で「会員増強」目標800社ですが、入会と退会の差があまりなく、純増がなかなか出来ない状態で伸び悩みしているのが現状です。私の役目は、会員の皆様がメリットを感じ日々の仕事のアシストが出来る組織と人材の発掘が役割と思っています。ご協力よろしくお願い致します。

白井 勇

新しい年度も引き続き総財務委員会及びブロック支部委員会を担当することになりました。また、新たに建築物耐震改修評価特別委員会も担当させていただきます。総財務は財務状況健全化を中心に、ブロック支部では会員増強を各支部の協力の元にオール神事協体制で取り組んで行きたいと考えています。会員の皆様のご理解とご協力、よろしくお願い致します。

小渡 佳代子

副会長を拝命いたしましたオール神事協体制2期目、再任の小渡です。設計事務所としての夢と希望を膨らませながら、業務支援体制の充実、多様な会員の思いが繋がり、連携を深め、知恵を出し合う力ある協会をめざし、社会の様々な課題に職能を発揮し、成熟する高齢社会に貢献できたら嬉しいです。宜しくお願い致します。

福田 亮一

霞が関の東京地方裁判所に原告として通っていたのは8年前の事、失敗だらけの私でしたがとても辛い時期でした。

その頃の支部長だった中村さんが何も聞かず何も言わず良く飲み連れ出してくれました。具体的な援助は無いもののそのささやかな慰めに私は救われ今日があります。この通りダメ人間の私ですが、小林会長をはじめとして会員の人達そしてこの協会が大好きです。

今、副会長と言うバトンを受け取った以上次のランナーへ渡すまで、自分らしく走りたいと思います。



上段左 福田副会長
上段中央 白井副会長
上段右 伊藤専務理事
下段左 棕副会長
下段中央 小林会長
下段右 小渡副会長

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 第3回定時総会（平成26年度決算総会）報告

日時 平成27年6月5日（金） 13：00～

場所 ロイヤルホールヨコハマ 4階エリゼ

◇司会者：来住野理事

◇建築士事務所憲章の朗読

◇開会の辞 芝副会長

◇物故会員（5名）に黙祷

◇会長挨拶 小林会長

◇定足数の確認

現在会員数 767名（過半数＝384名）

議場出席者 60名

書面表決出席者 414名

出席者合計（ 511名）

以上、定款第23条による総会の設立を報告

◇正副議長選出

議長 大和綾瀬支部 相原聡様

副議長 座間支部 谷田康司様

◇議事録署名人選出

定款第26条2項により議事録署名人として

会長小林忠志氏と千賀浩一氏を選出

◇議案

（1）第1号議案 平成26年度決算報告承認の件

永田総財務委員長より報告

（2）監査報告

磯田監事より平成26年度監査報告

以上により第1号議案の説明と監査報告を終了し、議長は一括質問を受ける旨、発言

また、質問者は支部名、氏名を述べて質問するよう求めた

議長は質問がないことを確認し、議場に第1号議案について承認を求め、満場一致の承認を認め、議場60名、書面表決（承認）412名、委任状84名の承認を合わせて556名の承認となり、定款第23条による過半数を満たしていることから、承認された

（3）第2号議案 定款改正承認の件

議案書により、定款改正案について白井副会長より説明

以上により第2号議案の説明を終了し、議長は一括質問を受ける旨、発言

また、質問者は支部名、氏名を述べて質問するよう求めた

議長は質問がないことを確認し、議場に第2号議案について承認を求め、満場一致の承認を認め、議場60名、書面表決（承認）414名、委任状84名の承認を合わせて558名となり、定款第53条第1項による3分の2以上を満たしていることから、承認された

（4）第3号議案 会費規程改正承認の件

議案書により、定款改正案について白井副会長より説明

以上により第3号議案の説明を終了し、議長は一括質問を受ける旨、発言

また、質問者は支部名、氏名を述べて質問するよう求めた

議長は質問がないことを確認し、議場に第3号議案について承認を求め、満場一致の承認を認め、議場60名、書面表決（承認）414名、委任状84名の承認を合わせて558名。

会費規程4改廃については、総会にて決議する規定となっていることから定款第23条により過半数を満たし、承認された

（5）第4号議案 役員改選の件

谷田副議長が議案書により役員候補者の読み上げを行う

<理事候補>議案書参照（HP掲載）

<監事候補>議案書参照（HP掲載）

第4号議案の候補者読み上げを終了し、議長は一括質問を受ける旨、発言

また、質問者は支部名、氏名を述べて質問するよう求めた

議長は質問がないことを確認し、議場に第4号議案の候補者それぞれについて承認を求め、満場一致の承認を認め、議場60名、書面表決（承認）412名、委任状84名の承認を合わせて556名の承認となり、定款第23条による過半数を満たしていることから、役員候補それぞれが承認された。続いて、議長は議事を中断し別室にて第2回理事会を開催し、会長・副会長・専務理事を選任することを宣言

（第2回理事会を開催し、正副会長、専務理事を選任し、それぞれ挨拶を行った）

会長 小林 忠志

副会長 椋 茂廣 白井 勇 小渡佳代子

福田 亮一

専務理事 伊藤 吉一

議長より、本日提出の議案はすべて終了したことを発言、議場に他に発言のないことを確認し、議事の終了を宣言。進行を司会者に戻した。

◇正副議長解任

議事の終了を宣言し、正副議長解任を司会が宣言

◇報告

（1）第1号報告 平成26年度事業報告承認の件

議案書により、白井副会長から報告

（2）第2号報告 平成27年度事業計画の報告

白井副会長より報告

（3）第3号報告 平成27年度予算の報告

永田総財務委員長より平成27年度予算を報告

◇退任役員代表者あいさつ

退任代表者として芝副会長に特別表彰及び記念品の贈呈を行うと共にごあいさつを頂いた。

◇閉会の辞 椋副会長

建築探訪

静閑亭

5月24日(日)建築の仲間4人での国府津・小田原の街歩き。午後4時ごろに最後の静閑亭に到着。

敷地は小田原城天守の南側を走る足柄街道から城内高校の方へ入る脇道の南側に当たり、箱根外輪山から延びる天神山尾根筋の先端部で、もとは小田原城三の丸の外郭の土塁上に建てられたもの。

建主は福岡藩13代藩主 黒田長成 侯爵 従一位 貴族院副議長を30年努められた秀吉の軍師黒田官兵衛の直系の子孫であり書と漢詩を好んだという。日露戦争終結の翌年明治39年、このころ小田原に政財界人や文人の別荘建築のブームがあり、多く建てられた。最初は西側部分が建築され、東側の2階建部分はその後(大正始め)増築された。敷地の北側からのアプローチとなるので脇道から南西に樹木が鬱蒼と生い茂る暗い坂道を上ると、くすの大木の向こう側に建物の北側外観が現れ、玄関前の明るい庭に出た。1階103.7坪、2階16.2坪、延べ119.9坪 木造2階建入母屋瓦葺下屋銅板一文字葺、外壁漆喰、腰杉下見板張形、色彩共に周囲の風景に見事に溶け込んでいる。

西棟と東棟の間の廊下を北に延長した先に四畳半大の玄関があり、下屋の柱は曲がりのある杉の磨き



丸太、欄間にはなぐりの細いたて格子を組み込んだ下地窓、杉磨き丸太の框の前には、たたきと同じ石を積んで固めた靴脱ぎが設けられている。いかにも別荘らしく自由な遊び心が見うけられる。玄関から左(南)に伸びる廊下を挟んで西側に黒田さんが日常を過ごされたお居間を中心として次の間、食堂、広縁が平屋建入母屋起り付瓦葺の大屋根の下に納まっている。

部屋のレイアウトは北から中庭、廊下、次の間、お居間、広縁と南へ繋がりが、そのさきは庭園から城下、相模湾へとつながってゆく。西隣の食堂、東棟1階の客間、鎖の間も同様な形式を

厚木支部 門谷 隆康

とっている、これらの部屋どうしは視界として東西は塞がれ南北は解放(相模湾に向かって開かれる)されている。従って廊下から入った次の間とお居間は、深い庇と紙張障子によって造られる深い陰影の内にあり、そこから見える広縁のガラス戸越しの景色は、より明るく美しく見えるのである。お居間に使われている柱は杉の面皮、長押がついているが当然に杉の磨丸太、床柱は杉絞丸太、框黒漆蠟色塗り、面部皮つき、広縁の桁は杉の磨き丸太、天井は、化粧屋根裏、杉中空板張り、垂木は杉の磨き小丸太となっている。



当時はこのお居間や食堂から城下、相模湾がよくみえていたという、現在は庭園を眺めながら抹茶と小田原産のスイーツが楽しめる。

ここから東棟の1階客間に向かう、東棟は西棟から3間北側にセットバック、離れはさら



に東棟から2.5間セットバックして全体が東西へ雁行形の配置となっている。東棟の西北に水屋、杉の磨丸太柱の左側、上が紙襖、下引出、右側上に杉杢目板の天袋、紙張障子の前には浮んだよ



うに違い棚が細い竹でつるされている、腰に無垢の板、流しには竹を編んだ蓋が置かれて

いる。質素でありながら軽々としてすがすがしい意匠が見える。



東隣の次の間から、波に千鳥の透し彫欄間の下をくぐり客間に入る。

縁側境には紙張猫間障子、腰は生成りの和紙張、西側に2間の床の間、床柱は根元が程よく曲がったゴマ竹、框は杉磨丸太上面黒漆蠟色塗、脇床に桂離宮の櫛形窓をモチーフにした書院窓が設けられ、庭の景色が切り取られている。縁側に設けられたガラス戸は幅3.75尺、横棧は視線を害さないためか断面が八角に落とされ、間隔は尺間に配置



置されており、庭をうつして美しい。部屋の程よい陰影が、障子の白と、明るい庭園の緑

を引き立て、外部と一体の空間となって調和している。

縁側の西から2階へ階段を上がる、桜の段板、断鼻には黒漆塗の滑留めが目透かしで取り付けられている。階段上の壁にガラス窓が設けられ、降りる時は正面に相模湾が切り取られて見える演出。北側の縁から2階座敷に入る、材料はほぼ他と同様、床柱皮付丸太、袋床の方立は白竹、床の間の南側の壁には、墨蹟等の掛物に明かりを取るため、竹木舞に藤蔓をまいた四角い下地窓を設けているのは、書と漢詩を好む黒田さんならではの意匠。次の間との境の欄間には高さの中央部に、



の上の隙から隣の竿縁天井が覗いている。

数寄屋とは？ それは質素でありながらも洗練された意匠であり、使用する材料は竹や杉丸太、土壁仕上の聚楽壁、その他多彩な材料を使いながら高度な技術を要求する。柱は面皮、長押は省くか杉の面皮とする、床の間は小規模で自由にデザインされる。そして深い軒の出により内部空間に奥深い陰影と清澄さを与え、障子、襖、欄間等で空間を演出する創作の手法ということである。



南側の畳を敷き、その先に板を敷いた縁側、そこにある籐の椅子に座る 朝10時ごろから歩き回っていたので今はもう5時ごろ、この場の小休止はありがたい。この場所はちょうど2階の東南の隅に当たるところ、南を見れば左から、



正面に大島を浮かべた相模湾、右手から真鶴半島が弓形の弧を描く、まさに広重

の画を見るような風景 椅子に体を任せていると、海を渡ってきたであろう南の風が首のあたりを過ぎてゆく、清々しく気持ちの良い感覚に包まれる、一瞬明治・大正の時代にタイムスリップしたような感覚で目を覚ましわれに帰る。視線を縁側から、座敷、北側の縁、そしてガラス戸の向こう側には、五月の陽光を受けて輝く新緑の山々 黒田長成公が特にこの別邸を好み度々訪れたというはもっともなことではある。皐月の陽光に輝く、広くて明るい海、松の緑の庭、風景に溶込むような数寄屋それには風土の持つ湿り気と永続する歴史の流れが感じられるほんの数分であつたろうか、黒田さんが見て、感じていた明治・大正の日本と同期し自然と一体となった贅沢な時間を、体験することができたと思う。

支部だより 県西支部 家庭用ガス設備見学と料理教室

県西支部 鎌田 直和

● よろず塾

県西支部では、業務に役立つ知識向上・情報提供の目的で「よろず塾」を定期的開催し、併せて会員相互の親睦を図っております。

講習会を中心に行ってきましたが、今回は趣向を変え、支部協力会員の小田原ガス株式会社様の協力のもと「家庭用ガス設備見学と料理教室」を開催しました。

● 最新家庭用ガス機器とエネファーム

会場は小田原ガスのショールーム。市内ショッピングセンターに隣接し、最新の機器がズバリ！と展示されています。

ガスコンロはタッチパネルで操作し、お子様が誤って点火しないよう、磁石のコマで操作します。不在時にはコマをしまえば、点火出来ません。

その他、従来 of ガスコンロに増して安全性・効率性に配慮がなされており、技術の進歩に一同感心。

● 料理教室！

ショールームには厨房施設もあり、見学後に「料理教室」に挑戦です。

見学した機器を用いての料理教室、女性陣はさておき、男性陣はエプロン持参で慣れない包丁さばき（いや、上手な方もおられました）

材料の仕込みは用意済みとは言え、アスパラ巻きやから揚げが、あっという間に出来上がりました。

不安な？試食会でしたが、予想以上の美味しさに一同大満足。楽しくも有意義な時間を過ごし、会員の皆様からも大好評の「よろず塾」でした。



続いて、最近のお客様が大きな関心を寄せている「マイホーム発電」。家庭用燃料電池を用いたコージェネレーションシステムで、都市ガスからとりだした水素を空気中の酸素と反応させることで発電します。

お客様からの要望が多い事項でもあり、会員からも活発な議論と鋭い質問？が飛び交い、今後の業務に大いに役立つ見学会となりました。

支部だより 2015 よこすか支部 から

横須賀支部 増田 務

5月24日、初めて建設フェスタに三会（建築士会、事務所協会、ミーズ設計協同組合）で参加しました。横須賀市の建設関連団体が一堂に集まるフェスタです。ここソレイユの丘は西に相模湾、霊峰富士山が望め自然に恵まれているところです。当日は家族づれが多く来場し、建設機械に乗り、測量機を実際に覗いたりして、終日楽しんでいました。三会のブースではシャボン玉や10円くじ、バルーンアートに人が集り一段と賑わっていました。ビールも飲めず健全なフェスタでした。



6月7日はふれあい祭り。今年は長年参加したことで表彰状をいただきました。これは今までの委員長初め委員の頑張りのお陰と感謝しています。ハンデキャップが有る人や高齢者の為に住まう悩み相談を終日行い車イスの実体験もしてもらいました。

6月12日から一泊二日で世界遺産の富岡製糸場へ行ってきました。横須賀製鉄所が誕生してから150年となります。横須賀製鉄所で焼いたレンガの一部が使用され、製糸所の設計図は横須賀造船所の建築担当技師が描き、建築は横須賀より大工が10名ほど建築に携わっています。富岡は横須賀とは縁がある場所です。当日は富岡市役所の森田係長に特別に説明を受け見学を終えました。見学終了後はささやかな宴会となりました。



6月初めよりインフォメーションボードを商店街に設置しました。消費者により良い情報を発信、建築士の仕事をアピールするために常設で設けました。月1回の役員会では本会の報告や支部、三会共催の講習会、研修会を企画しています。本会の行事と重ならない様、十分配慮しています。

旅行記

「南イタリア」

川崎支部 (有)上原建築設計事務所 上原 伸一

第1日目 2月20日、まだまだ寒い日本を離れ日が変わる頃、南イタリアの古都ナポリのティレニア海に面したホテルに到着。部屋のバルコニーから素敵にライトアップされた卵城を見ながら、南イタリアの旅に期待の胸を膨らませる。
(3泊)

第2日目 ヴェスビオ山から昇る朝日、カリブ島、サントルチア地区など、朝の散歩が清々しい。国立考古学博物館でポンペイの出土品を堪能の後、ガレリア、トレド通りやプレビシート広場を散策、サン・カルロ劇場からナポリを真二つに割るスカッポナポリへ。昼食は早速のピザマルゲリータ。午後は徒歩の観光に続き、メトロでの移動で現代アートの美しいトレド駅へ。ナポリ名物コーヒーは、老舗カフェ「ガンブリヌス」で。

第3日目 2000年前がタイムスリップしたポンペイ遺跡の街並みは、テルマエロマエが重なる。この旅の最初の絶景、ヴェスビオ火山をバックに世界遺産の美しい海岸線「コステイエラ・アマルフィターナ」をドライブ、かつての4大海洋国家のひとつアマルフィの町へ。ナポリに戻った午後は、ケーブルカー（ほとんどトンネル）に乗り、ナポリ市街を見下ろす絶景ポイントへ。この日は、卵城の前のシーサイドの人気店「LA SCIALUPPA」での夕食に続きホテルのバーでナポリ最後の夜を堪能。

第4日目 ナポリを離れ南下、モラーノ・カラブロはモンサンミッシェルのように円錐形の山に家々が重なるように建ち並ぶ様が圧巻。細くて急傾斜の路地道を歩き、立ち寄った別荘の内部からの眺めも素晴らしい。シチリアまではまだ遠く、途中の大学の町コセンツァへ（1泊）

第5日目 テルニア海のベニスと呼ばれ、メッシーナ海峡入口の要塞の町シッラ。キアナレーア地区の家並みと石畳が素敵な路地を下った先の漁港には、伊根の舟屋風の漁師の住まいが。ヴィラ・サン・ジョバンニの丘からメッシーナ海峡を挟みシチリアを臨みながらの昼食は、パスタファルファッレ(蝶々)にメカジキとイカリングフライ、そしてレモンチェッロが外せない。フェリーでシチリアに上陸後、アラブの迷宮の



卵城：2日目



アマルフィ：3日目



モラーノ・カラブロ：4日目



シッラ：5日目

ような細い路地裏が残る町チェファルーからシチリアの首都パレルモへ。(2泊)

～サッカーの国イタリア、長靴で蹴るボールの位置にあるのが地中海最大の島、シチリア島です。大半が山地と丘陵地で覆われ風光明媚な景観を造り出し、エトナ山などの活火山が見られます。地中海の中心部に位置し、海上交通の要衝として栄え、様々な民族の侵入と支配を受け、一種独特の融合文化を生み出しています。柑橘類とワイン用のブドウ生産が盛んなほか、四方を海に囲まれているため、漁業も盛んです。～

第6日目 パレルモ旧市街のノルマン王宮から、シチリアの誇り、ノルマンの至宝、パラティーナ礼拝堂へ。シチリア・ノルマンの建築美の極みで、モザイク、ハチの巣状の天井、床のコズマーティ細工など、息を飲む美しさ。カーポの市場では、シチリアの食を支える野菜、魚介、チーズや香辛料、マグロのカラスミなどが並ぶ。イタリア最大の歌劇場、ゴッドファーザーで有名なマッシモ劇場ではリハーサルの真最中。昼食のミシェラン2つ星「Lo Scudiero」はさすがの味。黄金の盆地コンカ・ドーロを見下ろす門前町、王の山モンレアーレでは、ノルマン王グリエルモ2世の建てた大聖堂も素晴らしい。

第7日目 海岸沿いからシチリアの内陸部の丘陵地帯を通り、ピアッツァ・アルメリーナへ。ビキニ姿の女性、魚や動物、ローマ時代の様子が分かる見事なモザイクのカザーレ荘は世界遺産。いよいよ最終地、東海岸のタオルミナへ。

(2泊)

第8日目 昨日の雨から一転して晴天の朝、エトナ山が全容を現す。紀元前3世紀のギリシャ劇場は、煙吐くエトナ山を望める一番美しい聖なる場所。ウンベルト1世通りを歩き、カターニャ門からミニバスで絶景ルートを走りカステルモーラへ。昼は、大聖堂すぐのミシェランガイド記載店のお洒落な「Art&Restaurant」でエトナの赤ワインのカクテルでサルーテ。カンツォーネを聞きながら最後の夜を過ごす。

第9日目 2月28日早朝、タオルミナから角度によって変化するエトナ山を眺めながらカターニャ空港へ。帰国の途に就く。



チェファルー：5日目



パラティーナ礼拝堂：6日目



ギリシャ劇場：8日目



エトナ山：9日目

JA相模原市農産物直売所 「ベジたべーな」

本計画は、市民に新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給を図るとともに、中小規模農家の販路の確保、新たな販路の提供等による市内農業の振興など、「相模原らしい魅力ある都市農業」の展開と発信が出来る場の構築を目的としスタートしました。

JA相模原市農産物直売所「ベジたべーな」は、その事業目的を機能させるため、県内に数少ない複合的用途を持ち合わせた直売所となっています。

直売所のほか、農畜産物加工施設、食育研修室、農業資材店舗を有しています。

緑豊かな閑静な住宅地の中に建つ本建物の外観は、大屋根の先端を薄くする等、各部分をシャープに仕上げることで凛とした表情を与え、周囲への圧迫感を軽減しました。また、屋根の一部に屋上緑化を設けることで周辺環境との調和も図っています。店舗正面はフロントサッシによる大開口部を用いる事で透明感のある開放

平塚支部 全農かながわ一級建築士事務所
田中 正幸

的な建物になるよう計画し、さらに奥行6mの下屋を店舗前面に設けることで、半外部的でオープンな売り場スペースを設けました。

内部空間においては、事務所・店舗・研修室それぞれの機能を独立して配置し、利用者と出荷者の出入口を分離して設けることで動線を明確にし、運営上の利用に配慮しています。直売店舗は天井を吹抜け状とすることでハイサイドライトからの光による明るく開放的な空間を演出しました。また、2F研修室は様々な利用方法に対応できる様に可動式厨房機器や可動間仕切を設置するなどしてフレキシブルな空間利用を可能にしています。店舗の内装として、壁は商品を際立たせるために白を基調としたシンプルな仕上げとし、床は長尺インレードシートを採用し耐久性を重視しました。

全照明にLED照明を使用し、各居室には自然換気が活用できるよう計画するなど、屋上緑化以外にも環境に配慮した設計を心掛けています。

9



新入会員のご紹介

5月入会者

横浜支部

株式会社ワタナベ福祉設計一級建築士事務所 渡邊 靖
〒246-0013 横浜市瀬谷区相沢5-25-6
TEL.045-444-9510 FAX.045-444-9520

株式会社 金子設計 稲毛 恒男
〒235-0007 横浜市磯子区西町5-11
TEL.045-761-5555 FAX.045-761-5557

川崎支部

株式会社初山建築工房一級建築士事務所 大谷 英穂
〒216-0026 川崎市宮前区初山11-22-22
TEL.044-767-5492 FAX.044-578-0054

セレス不動産一級建築士事務所 天野 敏雄
〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7 JAセレス梶ヶ谷ビル1階
TEL.044-870-6711 FAX.044-853-3773

相模原支部

有限会社三陽工務店二級建築士事務所 荻沼 康之
〒252-0304 相模原市南区旭町11-8
TEL.042-742-0293 FAX.042-745-0485

株式会社 尚設計事務所 小泉 喜亮
〒252-0335 相模原市南区下溝812-12
TEL.042-777-5760 FAX.042-777-5763

6月入会者

横浜支部

山木・増田総合事務所 増田 成司
〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階
TEL.045-228-7207 FAX.045-228-7208

一級建築士事務所SorA 金子 裕
〒220-0072 横浜西区浅間町3-179-5
TEL.050-5532-8870 FAX.050-3730-7111

株式会社 仲亀清進建築事務所 仲亀 清進
〒230-0073 横浜市鶴見区獅子ヶ谷1-11-1
TEL.045-581-9812 FAX.045-581-9812

株式会社エダキン一級建築士事務所 江田 浩忠
〒230-0001 横浜市鶴見区矢向1-1-112
TEL.045-584-5111 FAX.045-584-3311

株式会社都市建設システム一級建築士事務所 大越 隆博
〒225-0015 横浜市青葉区荏田北1-6-8-101
TEL.045-914-8293 FAX.045-914-8294

相模原支部

株式会社既存住宅保証センター一級建築士事務所 古田土 勉
〒252-0303 相模原市南区相模大野3-3-1-501 ポーノ相模大野南棟5F
TEL.042-767-5442 FAX.042-767-5443

退会者

川崎支部

アトリエK一級建築士事務所 浜田 啓
木津建築設計一級建築士事務所 木津 努
株式会社 尾作住宅一級建築士事務所 尾作 弘

横須賀支部

久保田建築店二級建築士事務所 久保田貞吉

茅ヶ崎・寒川支部

株式会社石田工務店一級建築士事務所 水口 学一

秦野支部

有限会社井上建築設計事務所 長谷川誠次

相模原支部

株式会社三平測量 三平 幸治

賛助会退会者

杉田エース株式会社
株式会社ビュード
三和シャッター工業株式会社

会 勢

支部名	平成26年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	264	268	9	5	4
川 崎	105	103	4	6	-2
横 須 賀	51	50	0	1	-1
湘 南 三 浦	17	17	0	0	0
藤 沢	25	26	1	0	1
鎌 倉	38	36	0	2	-2
茅ヶ崎寒川	19	18	0	1	-1
平 塚	21	21	0	0	0
秦 野	20	19	0	1	-1
伊 勢 原	8	9	1	0	1
大和綾瀬	18	17	0	1	-1
厚 木	32	33	1	0	1
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	14	14	0	0	0
愛 川	7	7	0	0	0
相 模 原	76	76	3	3	0
県 西	42	41	0	1	-1
合 計	769	767	19	21	-2
賛 助 会 員	79	76	0	3	-3

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

編集者のつぶやき

生まれてすぐ、東京は米軍機による300機からの空爆により壊滅し、家族は山形に疎開しました。戦後しばらくして戻り、母の女学校時代の友達のご縁で神田川のそばの面影橋の近くの長屋に戦後生活することになりました。家族の他に鼠が家にいました。現代の長屋とは違い、界壁は天井まで多分届いてないです。鼠はねずみとりき捕鼠器とか殺鼠剤で退治をします。猫を飼うお宅もありますが、我が家は飼ってなかった。殺鼠剤で対応すると天井裏で鼠が死にそこにウジが湧きます。捕鼠器だと一度捕獲すると匂いでわかるのか次は捕獲困難になります。長屋ですからうちで退治しても隣家から又やってきて「いたちごっこ」です。現代では見る事ないと思っていたら、外国人にも人気の渋谷駅の排水溝のそばの茂みに最近数匹見つけました。いま、僕の机には2匹のマウスがいます。1匹は尾がないやつです。2つともパソコンから情報を探し出し、結構役立つ奴です。昔、憎い鼠も今では愛すべきマウスに変身です。編集後記も右手のマウスと共に仲良く原稿を書きます。

羽田空港対岸の川崎キングスカイフロントの研究所以は品質の良い無菌マウスが量産飼育されていて、昔の迷惑なもの、今ではひと疾患の治療薬開発になくってはならないです。鼠とマウスどちらもこれからの世界を開く鍵をにぎる存在になりました。【委員 恩田 耕爾】



最近都内で見つけた長屋らしき建屋

■会報“KANAGAWA5月号”に関するお詫びと訂正

P5 支部だより (誤) 茅ヶ崎支部活動報告 → (正) 茅ヶ崎寒川支部活動報告
謹んでお詫びを申し上げますとともに、訂正させていただきます。

かながわ 平成27年7月号 (通号397号)

発行 平成27年7月1日 (奇数月1日発行)
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

・ 担 当 副 会 長 小渡 佳代子
・ 広報情報委員長 白川 正孝
・ 広報情報副委員長 宮寺 透雄 小泉 厚
・ 広報情報委員 森 雄治 恩田 耕爾 棚橋 由佳
・ 新倉 良一 坪井 教一 杉本 勝郎
・ 事務局 小林 恵美



今月の表紙

明月院寸景

明月院と言えば「あじさい寺」で有名な名刹。この時期は紫陽花より人の数の方が多い為、同じくこの期間特別公開の「本堂後庭園」にて花菖蒲を楽しんで来ました。もう一つの呼び物である丸窓は、「悟りの窓」とも言われますがいくら眺めていても悟りの境地にほど遠いわが身を感じた一日でもありました。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association